

そこから、薬剤師の仕事が始まります

地域に密着した医療を目指して

**岩美病院
ニュース**

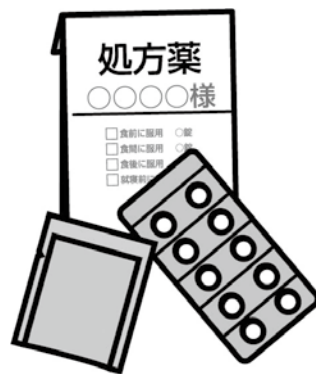
問い合わせ先
岩美病院 事務局
☎73-1421

岩美病院 薬剤部

患者さんが入院される時には、その時に飲んでいる薬をできる限り持って来ていただきます。入院される患者さんは岩美病院だけに通院されている方が多いのですが、当然のことながら中には他の病院・医院にも通院されている方や他の病院にしか通院されていない方もおられます。



持ち込まれた薬の名前と飲み方を調べて、医師に知らせること。そこから、私たち薬剤師の仕事が始まります。今では、おくすり手帳や薬剤情報書が普及しているのですが、鑑別もやりやすくなりました。しかし、この二つを持ってこられない方もおられます。そんな時には薬を一つ一つ調べます。まず、薬そのものを観察します。なぜなら、ありがたいこと



に錠剤には、数字やアルファベットが打ってあるので、それを見つけて参考書で探し出せば確認できるからです。ところが、中にはこの方法が使えない場合があります。それは、何も書いてない薬と粉薬です。これには私たちもお手上げなのですが、方法が無いわけではありません。それは、調剤をした病院、医院、薬局へ直接問い合わせることです。最初からすべてそうしておけば早いのですが、そうはいきません。その手法に頼ってしまうと薬剤師自身の勉強にならず何もできなくなってしまうので、なるべく他所に頼ることが無いように努めることが重要だと考えます。

患者さんの中には、薬の中身だけを持参される方もありますが、それでは薬の飲み方が分からないのです。一日何回飲むのか、いつ飲むのか等の情報はどれも重要なことなので、いいかげ

んにはできません。患者さん本人に聞いてみたり、いろいろな方法で正しい情報を手に入れること、それも私たち薬剤師の重要な仕事です。

おくすり手帳や薬剤情報書は、災害時だけに役立つものではありません。日々の生活の中でこそ利用価値があるのです。いつも飲んでる薬を、飲み続けていただくことにより、入院しながらも日常を維持することができ

ます。薬剤師の仕事は、調剤等を行うだけではなく、このように患者さんと接し、常に寄りそう医療を提供することが大きな役割となっています。

